



情熱もたらした監督



久原 大輝

今季限りで退部することになったラウル・ロサノ監督。

選手を指導する情熱や試合に勝つための執念は、私が今まで出会った監督の中では、一番持っていた方だろう。練習中でも、ことあるごとにプレーを止め、できるま



今季限りで退部する江川選手(左)、ラッセル選手(中)、ロサノ監督

で何度も反復練習を課し、自主練習時も付きっきりで指導。試合中、幾度も感情をあらわにして、チームを鼓舞し続けた。

負けた時に誰よりも悔しがる姿は、数シーズン下位に甘んじていたチームに大きな刺激を与え、フアイティングスピリットを植え付けた。負けず嫌いな面は趣味のゴルフでも垣間見え、彼のショット中に音がすると、飛んでいるカラスやヘリコプターにも怒るほどだ。

人と会話をすることが大好きな方で、いつも体調や家族のことを気にかけてくれて、今年はスタッフにワインをプレゼントしてくれた。

誰よりも熱血な勝負師で人情味あふれるロサノ監督。彼とともに仕事をさせていただいた2シーズンは、本当に幸せな時間でもあった。

これからも、世界のどこかで熱く指導しているだろう。いつまでも元気な姿で、バレーボール界を盛り上げてほしい。

ありがとう、ラウル。

(3月30日)

(JT広島マネジャー)